



副題にあるとおり、一人一人の生徒が、充実した学校生活を送り、自らの未来を力強く描いてくれることを願います。

令和3年度の生徒会テーマが、メディアギャラリーの一番高い位置にある壁面に掲示されました。色鮮やかで美しい掲示物のおかげで、校内が華やいだ感じになっています。

制作したのは生徒会書記局、代表委員会の選抜メンバーです。緊急事態宣言下で放課後活動が制限される中、体育祭の準備と並行して作業をしていました。

掲示を終えた後、これを見つけた1年生は掲示物に見入っていました。制作に携わった生徒の目には、満足げな様子が伺えました。



【前文】先人の熱いこころを受け継いでふるさとに生きる力を育む

【教育目標】

真理を探究する人
友情を大切にする人
創造し実践する人
健康で明朗な人

【教育推進スローガン】

自立・感謝

国語。学習状況調査 結果速報

5月27日（木）に実施された令和3年度全国学力・学習状況調査の本校の結果について、現段階での分析結果をお知らせします。なお、全国的な集計結果等についてはしばらく先の事となります。

【出題の傾向】

- ・国語では「会話」「話し合い」をテーマにした出題が必ずある。
 - ・国語では「資料の読み取り」が出題されている。
 - ・条件作文については必ず出題されている。
 - ・数学では理由・事柄や事実・方法や手順を説明させる問題が出題されている。
 - ・数学的な表現を用いた説明を求めている。
- 新学習指導要領が示す「新しい時代に必要な資質・能力」がベースになった出題であることが明らかです。
- 【国語の結果】
- ・「話す・聞く」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については高い正答率でした。

新しい時代に必要な資質・能力の三つの柱

①生きて働く知識及び技能の習得

各教科等において習得する知識や技能。個別の事実に限らず、それらが相互に関連付けられ、さらに社会の中で生きて働く知識を含む。

②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等

- ・物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく
- ・精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発話によって表現したり、目的や場面、状況等に応じて互いの考えを適切に伝え合い、多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりしていく
- ・思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく

③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性の涵養

- 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素。
- ・学びに向かう力、自己の感情や行動を統制する能力、自らの思考の過程等を客観的に捉える力などいわゆる「メタ認知」に関するもの
 - ・協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの「人間性等」

【国数共通】

一方で「書く」領域に課題が見られました。

【数学の結果】

- ・「数と式」「関数」については高い正答率でした。一方で、「図形」について課題が見られました。

【生徒質問紙から】

- ・基本的な生活習慣に関する肯定的回答率が非常に高いです。
- ・自己肯定感に関する肯定的回答率は、過去の全国水準と比べ低いです。

・挑戦心や達成感に関しての肯定的回答率は、高まりをみせています。

・読書離れ、新聞離れの傾向が年々強まっています。

・地域への関心や貢献についての肯定的回答は高まっています。

・「主体的・対話的で深い学び」に関する肯定的回答率は非常に高いです。

・規範意識（いじめ防止を含む）に関しての肯定的回答率が非常に高いです。

・ICTを活用した学習への有用性について、ほとんどの生徒が肯定的回答をしました。

学校では自校採点の結果の概況をもとに分析を行って、全教職員が現況の把握をしています。とりわけ課題と認められる項目をそれぞれの教育活動に照らし、改善を図っていきます。

なお、例年行っている地区別懇談会の折にも、全国学力・学習状況調査の結果や学校生活アンケートの結果等についてお知らせする予定です。

☆3年生保護者の皆様へ

この度は、お忙しい時期にもかかわらず、全国学力・学習状況調査保護者アンケートにご協力を頂き、本当にありがとうございました。

教育相談をしています

6月15日（火）・18日（金）の4日間の日程で、生徒の理解を深め、学習や生活面への助言等を目的に、全学年教育相談を行っています。日常の様子に加え、3年生は進路に関する相談についても行っています。

また、6月の末・7月（1年生と2、3年生の実施日が異なります）にかけて、担任と保護者による二者懇談を実施します。お子さんの1学期の様子について話す貴重な機会となりますので、よろしくお願いいたします。

第1回定期テストに向けて

6月23日（水）に第1回定期テストを実施します。それに伴い、14日（月）から朝読書の時間帯を活用して朝学習を行っています。

基本的に取り組み方は個人や学年に任されていて、思い思いの学習内容、学習方法で取り組んでいます。中にはタブレットを活用しながら勉強している生徒もいます。

1学年では、国語の漢字や社会の県庁所在地などのテストを独自に作成しました。放課後に勉強時間の

ペース配分などを細かく教える姿もありました。1年生にとって初めての定期テスト。学習ペースや学習方法について手探り状態の生徒に適宜アドバイスしながら、丁寧に学習指導を進めている様子が伺えました。

「乗り入れ授業」スタート まずは小5・6体育から

小中一貫教育の取り組みの一つとして、中学校教員による小学校への「乗り入れ授業」を計画しており、本校の三根教諭が小学校5・6年生の体育の授業を行いました。授業内容は体力テスト。ソフトボール投げなどの指導を熱心に行いました。

初めて中学校の先生に教わった児童たちからは「三根先生に教えても

らってボール投げのコツがわかりました。」「少しづつコツをつかめて記録が伸びました。また三根先生に教えてもらいたいです。」などの感想が寄せられました。体育については16日（水）と17日（木）21日（月）22日（火）の計4回行います。

小学校への「乗り入れ授業」は今後体育以外にも、中村先生による図工、手嶋先生による社会、大畑先生による英語の授業を予定しています。



実用算数・数学技能検定、1回目、受検募集終了！

5月19日（木）に1回目の「実用算数・数学技能検定」のご案内を小中学校の全児童生徒に配布しました。試験日は7月18日（日）で、6級（小6程度）～11級（小1程度）3級（中3程度）～5級（中1程度）、準2級（高1程度）までの希望する級を受検することができます。小学生9名、中学生3名の計12名が受検を希望しています。

2回目は、12月4日の予定です。

1回目の実用英語技能検定終わる！

5月29日（土）に1回目の英語検定が中学校で行われました。3級を受けた中学校3年生3人は、直前まで試験に出そうな問題の見直しをしていました。また、5級を受けた小5・6年生、中学校1・2年生は、初めて検定を受ける人もいてちょっと緊張気味でした。

小学生は、「初めて中学校の校舎に入る。」と興味津々の様子でした。

今年度から本村では小中一貫教育を進めており、その様子を上のような小中一貫だより「一貫教育」にてお知らせしています。執筆者は小中学校に配置されている一貫教育推進員の二人の先生（小学校：中川先生、中学校：福山先生）です。

なお、本校のホームページに小中一貫のページを新設しました。おたよりも見られるようにしておりますので、是非ともご覧いただければと思います。

<http://shinshinotsu.ec-net.jp/ikkan.html>